

県民意識調査に係る統計的分析について（平成 31 年調査と令和 4 年調査の比較）

○分野別実感が低下した分野

分野別実感	【県民意識調査】属性分析 （実感が低下した属性）		属性分析から得られた結果	補足調査結果からの推測 （実感が低下した人の上位 3 位の回答）	まとめ
余暇の充実	性別	女性	低下した理由の抽出は困難 （年齢が高い属性で低下が見られているが、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ①自由な時間の確保 ②趣味・娯楽活動の場所・機会 ③知人・友人との交流	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ①自由な時間の確保 ②趣味・娯楽活動の場所・機会 ③知人・友人との交流
	年代	70 歳以上			
	職業	60 歳以上の無職			
	世帯構成	夫婦のみ			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	県央、沿岸			
地域社会のつながり	性別	男性、女性	低下した理由の抽出は困難 （他の分野と比べても、全体的に差が大きく、その中でも比較 的居住年数 10 年未満の差が大 きいものの、特徴的な理由の推 測は困難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 隣近所との面識・交流 ② 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防 災活動など） ③ その地域で過ごした年数	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 隣近所との面識・交流 ② 自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災 活動など） ③ その地域で過ごした年数
	年代	40 歳以上			
	職業	会社役員・団体役員、常用雇用者、 臨時雇用者、60 歳以上の無職			
	世帯構成	ひとり暮らし、夫婦のみ、 2 世代世帯、3 世代世帯			
	子の数	1 人、2 人、3 人、子どもはいない			
	居住年数	10 年未満、20 年以上			
	広域圏	県央、県南、沿岸、県北			
地域の安全	性別	男性、女性	低下した理由の抽出は困難 （他の属性に比べて、比較的 60 歳以上の無職の差が大きいも の、特徴的な理由の推測は困 難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 自然災害の発生状況 ② 自然災害に対する予防（堤防の建設、避難経路の確 保など） ③ 犯罪の発生状況	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 自然災害の発生状況 ② 自然災害に対する予防（堤防の建設、避難経路の確保 など） ③ 犯罪の発生状況
	年代	60～69 歳、70 歳以上			
	職業	60 歳以上の無職			
	世帯構成	夫婦のみ、3 世代世帯			
	子の数	1 人、2 人			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	県央、沿岸			
仕事のやりがい	性別	男性、女性	低下した理由の抽出は困難 （他の属性に比べて、比較的ひ とり暮らしの差が大きいもの の、特徴的な理由の推測は困 難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 現在の収入・給料の額 ② 現在の職種・業務の内容 ③ 将来の収入・給料の額の見込み ④ 職場の人間関係	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 現在の収入・給料の額 ② 現在の職種・業務の内容 ③ 将来の収入・給料の額の見込み ④ 職場の人間関係
	年代	20～29 歳、70 歳以上			
	職業	臨時雇用者、60 歳以上の無職			
	世帯構成	ひとり暮らし、3 世代世帯			
	子の数	3 人			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	沿岸			
必要な収入や所得	性別	男性	低下した理由の抽出は困難 （他の属性に比べて、比較的自 営業主の差が大きいものの、特 徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 自分の収入・所得額（年金を含む） ② 生活の程度 ③ 家族の収入・所得額（年金を含む）	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 自分の収入・所得額（年金を含む） ② 生活の程度 ③ 家族の収入・所得額（年金を含む）
	年代	70 歳以上			
	職業	自営業主、臨時雇用者			
	子の数	2 人			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	沿岸			

○分野別実感が上昇した分野

分野別実感	【県民意識調査】属性分析 (実感が上昇した属性)		属性分析から得られた結果	補足調査結果からの推測 (実感が上昇した人の上位3位の回答)	まとめ
心身の健康	性別	男性、女性	上昇した理由の抽出は困難 (他の属性に比べて、比較的 居住年数 10 年未満の差が大 きいものの、特徴的な理由の 推測は困難。)	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 【からだ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② 健康診断の結果 ③ こころの健康状態 【こころ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② からだの健康状態 ③ 仕事・学業におけるストレスの有無 ④ 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 【からだ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② 健康診断の結果 ③ こころの健康状態 【こころ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② からだの健康状態 ③ 仕事・学業におけるストレスの有無 ④ 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無
	年代	30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上			
	職業	会社役員・団体役員、常用雇用者、専業主婦・主夫、60 歳以上の無職			
	世帯構成	夫婦のみ、2 世代世帯、3 世代世帯			
	子の数	1 人、2 人、3 人、4 人以上、子どもはいない			
	居住年数	10 年未満、20 年以上			
	広域圏	県央、県南、県北			
家族関係	性別	女性	上昇した理由の抽出は困難 (他の属性に比べて、比較的 会社役員・団体役員の差が大 きいものの、特徴的な理由の 推測は困難。)	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 会話の頻度（多い・少ない） ② 同居の有無 ③ 困った時に助け合えるかどうか	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 会話の頻度が多い ② 同居の有無 ③ 困った時に助け合えるかどうか
	年代	40～49 歳			
	職業	会社役員・団体役員、学生＋その他			
	世帯構成	2 世代世帯			
	子の数	3 人			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	県南、県北			
子育て	年代	20～29 歳	上昇した理由の抽出は困難 (他の属性に比べて、比較的 会社役員・団体役員、20 代の 差が大きいものの、特徴的な 理由の推測は困難。)	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ② 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ③ 配偶者の家事への参加	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ② 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ③ 配偶者の家事への参加
	職業	会社役員・団体役員、専業主婦・主夫			
	世帯構成	ひとり暮らし			
	子の数	1 人、子どもはいない			
	広域圏	県南、県北			
子どもの教育	性別	男性	上昇した理由の抽出は困難 (他の属性に比べて、比較的 居住年数 10 年未満の差が大 きいものの、特徴的な理由の 推測は困難。)	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 人間性、社会性を育むための教育内容 ② 学力を育む教育内容 ③ 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 人間性、社会性を育むための教育内容 ② 学力を育む教育内容 ③ 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)
	年代	20～29 歳、60～69 歳			
	子の数	2 人			
	居住年数	10 年未満、20 年以上			
	広域圏	県北			

○分野別実感が一貫して高値で推移している分野

分野別実感	属性		補足調査結果からの推測 (実感が上昇した人の上位3位の回答)
家族関係	世帯構成	夫婦のみ	① 会話の頻度 (多い・少ない) ② 同居の有無 ③ 困った時に助け合えるかどうか
自然のゆたかさ	全ての属性		① 緑の量 (多い・少ない) ② 空気の状態 (綺麗・汚い) ③ 水 (河川、池、地下水など) の状態 (綺麗・汚い)

○分野別実感が一貫して低値で推移している分野

分野別実感	属性		補足調査結果からの推測 (実感が上昇した人の上位3位の回答)
余暇の充実	年代	30～50代	① 自由な時間の確保 ② 知人・友人との交流 ③ 趣味・娯楽活動の場所・機会
	職業	常用雇用者	
	世帯構成	2世代世帯	
	子の数	子どもはいない	
子育て	子の数	子どもはいない	① わからない (身近に子供がいない、子育てに関わっていないなど) ② 子どもの教育にかかる費用 ③ 子育てにかかる費用 ④ 自分の就業状況 (労働時間、休業・休暇など)
子どもの教育	子の数	子どもはいない	① 人間性、社会性を育むための教育内容 ② わからない (身近に子どもがいない、子育てにかかわっていないなど) ③ 学力を育む教育内容 ④ 不登校やいじめなどの対応 ⑤ 図書館や科学館などの充実
必要な収入や所得	会社役員・団体役員、居住年数10～20年未満を除く全ての属性		① 自分の収入・所得額 (年金を含む) ② 家族の収入・所得額 ③ 自分の支出額